



羽合小学校 学校通信

平成26年9月16日 NO, 71

つながり

この3連休には妻の親族の法事がありました。次の土曜日には私の母の一周忌の法要を行います。私は特定の宗教を深く信仰しているわけではありませんが、法事などに出席してよかったなあとと思う事があります。それは、自分とつながりのある親族に会えることです。普段から親しく行き来できる親族ばかりではありませんから、3年、7年と定期的に行われるこの会があって、お元気そうだなあとか、結婚したとか、子供が大きくなったなあとか、自分とつながりのある人の横の広がりが実感できます。また、父や母、祖父母や曾祖父母へと、自分に連なる人の縦の広がりも実感できます。

自分は、一人で生きているのではなく命のつながりの中で生きているのだと感じます。

今月、27日の土曜授業では「命の学習」に子どもたちが取り組みます。

それぞれの学年が、子どもたちの発達段階に応じたテーマで学習に取り組みます。参観日として公開しますので、ぜひお出でいただき見守っていただければと思います。

9月23日は秋分の日、天文学的には昼と夜の時間が等しくなる日なのですが、彼岸の中日として日本の生活の中に深く根ざしている日でもあります。「先祖を敬い、亡くなった人を偲ぶ日」として、お墓参りをする方も多いことと思います。宗派や地域の風習によって異なる事もあるでしょうが、お墓をそうじし、花を手向け、水を供えて線香をたて、合掌するといったような流れでしょうか。

宗教や習慣に違いがあっても、すべての方がそのようにお墓参りをするとは限りませんが、何らかの形で「自分は、一人で生きているのではなく、命のつながりの中で生きているのだ。かけがえのない命を大切に生きるのだ。そして、共に生きるすべての人を大切にすることだ」ということを実感し、誓い、命のつながりに感謝しながらすごしていきたいものです。

毎年取り組む命の学習は「自分はどう生きるのか」ということを考える学習です。学校でも日々の生活の中で学習を深めていきたいと思えます。また、ご家族との生活の中で、確かなものにしていただければと思います。よろしくお願ひします。

【赤ちゃん誕生】

8月から出産のためにお休みになっておられました青木典子先生に赤ちゃんが誕生されました。母子ともご健康とのことで、大変喜んでおります。子どもたちには、校内で出会い頭にぶつかったりしないように歩行に気をつけたりするなど、よく気配りをしてもらいました。このような気配りや配慮ができることは大切なことですので、それができるともすばらしいと思っております。ありがとうございました。